

総合患者支援センターニュース

Integrated Support Center for Patients and Self-learning
Okayama University Hospital

〒700-8558
岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学病院
総合患者支援センター
☎086-223-7151 (代表)
☎086-235-7744 (直通)



センターの活動に関してはホームページ
(<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/>)
をご覧ください。

新年のご挨拶

総合患者支援センター長
岡山大学病院副院長
大塚 文男



皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年より総合患者支援センター長を拝命いたしました副院長の大塚文男(総合内科・総合診療科)です。昨年は新型コロナウイルス感染症の猛威によって、患者サービスや地域連携といった本センターの要となる機能が大きく制限された1年でした。とくに昨年末から、岡山県でも医療機関を逼迫する急激なCOVID-19患者の増加に直面し、ソーシャルディスタンスの確保から外来トリージ、緊急や術前PCR検査をはじめ院内感染対策の強化など、緊張感の高い診療体制を余儀なくされてきました。新年からは、少しでも早く当センターの機能がフル活動できることを祈念してやみません。

さて今年は「丑」年です。人を助ける動物であり、堅実で真面目に物事を進めて成長する「牛」になぞらえて、耐える年から発展の前ぶれとなる年とも言われています。センターもこの干支にあやかり、ゆっくり進化したいと思います。各部署における患者支援・地域連携・入院支援など本来の機能を、新しい生活スタイルの中で可能な限り発揮できるような新たな仕組みを考える必要があります。当センターの医師・看護師・薬剤師・MSW・事務を含む多職種が一丸となって連携し、感染対策に高い意識をもって活動しながら、安心・安全な患者サービスと両立することが目標です。

今年も引き続き、《向きあう・つながる・広がる》という岡山大学病院のスローガンを念頭に、本院の「玄関」に位置する部署として、地域の各医療機関の方々と向きあい、信頼のある強いつながりを目指したいと思っています。患者さんのご紹介から転院、また介護・福祉・在宅に関する医療相談など、患者さんを中心とした温かいサポートに尽力する所存です。

どうぞご支援・ご協力のほど宜しくお願いいたします。



～地域医療連携部門からのお知らせ～

◆「セカンドオピニオン外来について」

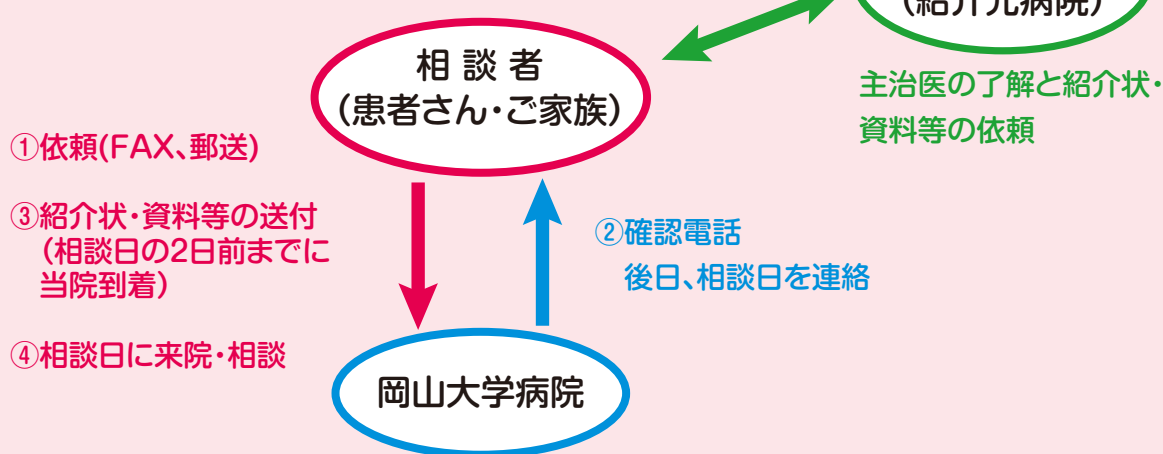
＊完全予約制

＊保険適用無し(44,000円(税込み) 60分まで(紹介医への報告書作成15分を含む))

セカンドオピニオンとは、ご自身の診療内容等について、担当医以外(他施設を含めて)の専門医に治療法等につき助言・意見を求めることで、患者さん自身が、自らの治療に対して最良の方法を選択する上で参考にさせていただくものです。現在の主治医が了解していない場合や、当初から当院での治療を希望されている場合は対象となりません。セカンドオピニオンを希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。

※各診療科での受付となり、診療科連携部門(例：メラノーマセンターなど)での申込みはできません。

【セカンドオピニオンの流れ】



連絡先 岡山大学病院 医事課医療連携担当(医科外来棟1階)

TEL:086-235-6758 FAX:086-235-6761

HP:<https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/index40.html>

～歯科棟移転について～

歯科棟は改修工事のため、2021年2月11日～23日の間、休診となります。2月24日～中央診療棟の1F、2Fの一部が歯科のフロアとなり、診療を再開します。移転後、診療室の主な編成は右に示す通りです。ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。



1F 101 歯科外来

- ・スペシャルニーズ歯科
- ・小児歯科
- ・矯正歯科
- ・口腔外科(再建系・病態系)
- ・歯科全身管理室

1F 102 歯科外来

- ・総合診断室
- ・摂食嚥下リハビリテーション

2F 201 歯科外来

- ・予防歯科
- ・総合歯科

2F 202 歯科外来

- ・医療支援歯科治療部
- ・むし歯科
- ・歯周科
- ・クラウンブリッジ補綴科
- ・咬合義歯補綴科

患者さんを支える院内連携

岡山大学病院には、院内にさまざまな専門職のチームがあります。総合患者支援センターでは、相談内容に応じて専門職のチームと連携をとりながら支援を行っています。いくつかご紹介します。



<栄養サポートチーム>

栄養状態を良好に保つことは、治療効果を上げることに大きな役割を担っています。医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士・ソーシャルワーカーなど、多職種が協働して栄養状態をチェック・サポートしています。

<緩和ケアチーム>

病気によって起きているつらい症状や気持ちのつらさなどに対応する医療・ケアです。終末期だけではなく、治療中から受けられる医療です。また、がんだけではなく治療の難しい病気の患者さんも受けられる医療です。

<看護専門外来>

外来看護機能の向上を図り、患者サービスを充実させるとともに病棟・外来・地域における看護の持続性を図ることを目的に看護専門外来を行っています。

ストーマ外来	ストーマ造設手術（人工肛門・人工膀胱）を受けられる患者さんへの説明、装具の選択、皮膚トラブル時のケアなどのサポート
がん看護外来	がん治療に関すること、不安や気持ちの落ち込みなどの相談
アピアランスケア外来	アピアランス＝「外見」を意味する言葉 がんの治療による脱毛、皮膚症状などの外見変化への支援
フットケア外来	爪の変形・切り方など足の処置とお手入れ方法の相談
周術期管理センター（看護部門）	手術を受けられる患者さんをサポート

その他、リンパ浮腫外来、造血細胞移植支援外来、糖尿病療養支援外来、臓器移植支援外来、腎臓病在宅療養指導外来、小児医療的ケア外来などがあります。

<腫瘍センター>

がん薬物療法専門スタッフが、安全・確実・かつ優しく外来化学療法を提供しています。治療のことだけではなく、がん患者さんとその家族の治療に伴う様々な苦痛や悩みの解決と、QOL（生活の質）の改善に多職種で取り組んでいます。



この他、院内の専門職種と連携して支援を行っております。
お気軽にご相談下さい。

認知症疾患医療センターのご紹介

認知症疾患医療センターでは、認知症の診断や治療、医療福祉相談を行っています。本センターの役割と相談窓口についてご紹介します。

診療について

外来診療は、脳神経内科(火曜日・木曜日の午前)と精神科神経科(木曜日)が担当しています。いずれも地域の医療機関からの初診予約申し込み及び診療情報提供書が必要となります。

早期診断や鑑別診断を行うこと、薬物治療の方針を決定しかかりつけ医をサポートすること、また患者さんの問題行動や合併する身体疾患の加療や適切な医療機関の紹介も行っています。

相談窓口について

相談窓口は、総合患者支援センター(外来棟1階受付①番横)でお受けしています。受診方法や生活・介護に関すること、病気に係る心配や不安、在宅での生活に関することなどご相談をお受けしています。

また、介護に関する地域の相談窓口や患者・家族会のご紹介もしています。

当院に通院・入院されている患者さん・ご家族に限らず、どなたでもご相談をお受けします。ご相談は無料です。お気軽にご利用ください。

WEBセミナー 認知症疾患医療センター市民公開講座のお知らせ 『明日から取り組む 認知症へのそなえ』

今年度は感染症予防のためインターネットでの配信を行います。下記のホームページを検索してください。配信期間2021年1月15日(金)～2月15日(月)の間、いつでもご覧いただけます。

岡山大学病院認知症疾患医療センター

検索



観 覧
無 料
予約不要

プログラム

講演1 「生活を支える制度について～介護保険を知っていますか～」

講師：岡山大学病院ソーシャルワーカー 廣田 奈美

講演2 「認知症の心理検査について」

講師：岡山大学病院公認心理師 今井 奈緒

講演3 「認知症の予防について」

講師：岡山大学病院脳神経内科 准教授 山下 徹

お問合せ：岡山大学病院医事課医療連携担当

TEL：086-235-6499

主催：岡山大学病院認知症疾患医療センター

後援：岡山県